

KSKR
NO.29



パンジーだより

かきつばた

発行 1998年8月
編集 クリエイトハウス
"パンジー"



またひとつパワフルに



4月末にアラスカピープルファースト大会へと旅立ったメンバーが無事に帰り、それぞれの体験を自分たちの言葉で伝えているのを見ると、また一つパワフルになったようで嬉しくなります。詳しくは後の「アラスカ報告」でお楽しみ下さい。

パンジーでは春に「パンジーまつり」を行っています。今年の開催が学校のある日だったり、ポスター貼りが少し遅かったこともあり、人が来てくれるか心配していたのですが、毎年来てくれる子どもたちや近所の人々、そして初めて来たという人など、多くの方がパンジーに足を運んでくれました。バザー物品もたくさんの方が提供して下さい、なかには遠方から送って下さったりして、おかげさまで売上げは昨年を大きく上回りました。6年目を迎えて、着実に地域に根ざしてこれたことを実感し嬉しく思いました。

ガイドヘルパーの人たちも得意の奇術やコーラスを披露してまつりを盛り上げてくれました。なんといっても今年のメインは沖縄のバンド「まーちゃん」です。唄にあわせてメンバーもお客さんもめいっばい踊りまくり、大いに賑わいました。

さて、今、11月に奈良で行う知的障害者全国交流集会（ピープルファースト大会）に向けて準備を進めています。昨年の静岡に続いて全国から実行委員の人たちが奈良へ集まり、どんな大会にしたいかなどを話し合っています。パンジーからは2人のメンバーが実行委員になり、がんばっています。大阪のなかま会でも大会に向けた勉強会をしています。そこで、大会のメインテーマとして「精神薄弱者福祉法」の改定について取り上げることになりました。当事者にわかりやすく伝え、考えていくために、職員の勉強会で障害者政策の流れと、福祉法の問題点を勉強しました。（この法律の「目的」には、知的障害を持つ人に対し「その更正を援助すると共に必要な保護を行い」と書かれています）勉強するなかで感じたことは、知的障害者に関する法律が何十年と変わらず、知的障害者を一人の人間として尊重していない内容への怒りでした。

パンジーのメンバーAさんは「こんなに大切なことを私たちに相談しないで決めないでほしい」と怒りの声をあげています。その怒りを力に変えて、当事者の声を反映した「人間らしく生きるための法律」に変えていかねばならないと思います。

(にっちゃん)

一九九六年五月一日 第三種郵便物認可 毎日発行 領価二五〇円



あの味は僕にしか出されへんねん
サクッサクッ

こんにちは、パン部門です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。毎日、暑い日が続きます。パン部門には暑さだけではなく、売上げも厳しい季節になります。どうしても夏の暑い日にはパンの売れ行きが下降します。が、そんな暑い日でもぴったりの商品がパンジーにはあるのです。その名も「チーズクッキー」です。パンジーのチーズクッキーはよつ葉チーズをふんだんに使用し、もちろん、卵、ミルクもたっぷり使いサクッサクッと風味豊かな仕上げになっています。そして、チーズクッキーを作っているのがメンバーの清水さんです。清水さん曰く「チーズクッキー作りはやめられへんねん。あの味は僕にしか出されへんねん」と断言しています。

皆様、お仕事の後のビールの肴に、風味豊かなあの味を食してみませんか。

(竹内)

クリエイティブ・だ・よ・り



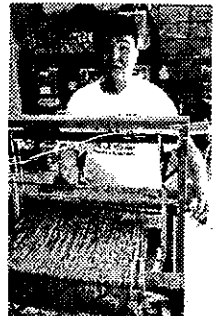
今年からMさんとTさんは、さをり織りに取り組んでいます。集中してやるので作業スピードはかなり早く、作業の準備も少しづつですが自分でできるようになっています。

園芸は昨年一年間試行錯誤でいろいろと取り組んできましたが、今年は苗作りを中心にがんばっています。いいあんばいに育った苗を、幼稚園へ植えにいった時には、園児たちに歌をうたってもらい、交流をしました。

新年度が始まり3ヶ月が過ぎ、みんなで作り出した、さをり織り・苗・陶器がたくさんできています。この自主製品を、販売に繋げていくために、夏から秋にかけてのいろんなイベントに積極的に参加しようと思っています。

さて、今年もパンジーの「元気が出るTシャツ」を販売します。なぜ元気が出るかということ、人間は障害があってもなくても、女でも男でも、貧乏でもお金持ちでも、みんな権利を持った人間（ピープル・ファースト）だ！ という意味があるからです。今年は、新しいデザインと配色の物を作り、カラーパンフレットも用意しました。ぜひ、一度ご覧ください。

(大北)





自立生活センター“わくわく”では、4月～5月にかけて、いろいろな情報誌にガイドヘルパー募集の記事を掲載しました。その中で、ボランティア情報誌「COMVO」と東大阪市の市報「市政だより」の記事に対する反応がとても良く、ヘルパー希望の問い合わせがどんどん寄せられました。福祉の仕事をしている人、会社員、福祉系の学校に通っている学生など様々な方から連絡をいただきましたが、その中でも市報を見た主婦の方からの問い合わせがだんぜん多いのが特徴です。ただ残念なのは、わくわく活動の場合、9時～5時の長時間活動で、しかもプールやハイキングなどをメンバーと楽しむ時には、ある程度の体力も必要なので「空いてる時間があるのでやってみたい」という主婦の方の希望になかなか応えられないことです。せっかくの「主婦パワー」を無駄にするのはあまりにももったいないので、わくわく活動以外のパンジーの活動なども紹介して、できるところで関わっていただけたらと考えています。こうやって、新しい人たちと出会い、パンジーのつながりが広がってゆくのが何よりうれしいです。

ところで、ガイドヘルパー制度をめぐり、とても腹が立つことがありました。最近初めて、A市に住んでいるBさんのガイドヘルパー利用をパンジーとして申し出ました。すると、市の福祉事務所の対応は、「市に登録しているヘルパーしか派遣できない。パンジーで長年活動しているヘルパーでも、市のヘルパー面接と研修（それも平日）を受け登録してもらわないと認められない。施設職員が登録するのはおかしい。ガイドヘルプは外出介助なのでプールなどの場合でも、送り迎えだけで一緒に泳いだりできない」というものでした。利用者のBさんにとって、初めて会うヘルパーと外出することはとても緊張することなのでせっかくの楽しいわくわく活動がトラブル続きになってしまい、Bさんもヘルパーも嫌な思いをして終わるといことになりかねません。Bさんの障害やいろんな事情を知ろうともせず、パンジーのガイドヘルパー派遣の実績も認めようとせず形式論議に終始することは、「利用者の立場に立った福祉サービスの提供」とは言えません。A市の福祉事務所に対して断固抗議し、傲慢で融通の利かない姿勢を正していきたいと考えています。 (まめやん)

★お知らせ『コミュニケーションの難しい人のワークショップ』

7月29日(水)～30日(木) 於：生駒ふれあいセンター



経験の中から、力をたくわえ、 自立につなげて！！

パンジーでショートステイをはじめ、1年が経過しました。今では、毎月、延べ50人以上の人達が利用しています。

メンバーにとっては、毎回の泊まりが、すっかり楽しみの一つとして定着しているようです。カラオケを楽しんだり、買い物に行ったり、時には祭りや野球観戦もありました。思わぬ料理の腕を披露してくれる場面もありました。

家族の人には、休息をとってもらい、新たな関係の中でメンバーとの生活を築き上げてもらえると思います。

また、職員にとっては、日々の授産活動の中だけでは知り得ない、メンバー個性と出会い、さらに深い人間関係を創れたものと思います。

そんな三者が、三様の立場で力をそなえ、近い将来、メンバーが次々と自立の道を行んでいくことを期待してサポートしたいと思います。(みつよし)



グループホーム日誌・7月

行事のあった日の夜のグループホームはたいにぎやかだ。自立メンバーやグループホームの住人は、いろんな活動に参加する機会が多いからだ。

6月29日、全通布施解放研主催の講演会の日は、つばさとあゆむのメンバーと職員の計8人が9時頃帰宅。先にきていた岩田さんと介護者の川口さんを合わせて10人があゆむに集まった。8人は遅い食事を食べながらあれこれと感想が飛び出して、活気があった。生田さん「練習不足だったんで緊張してもうた。広田さんの話はちょっと長かったな」。麻窪さん「今日は出番がなかったので残念だったな」。(講演会での発言は生田・肌勢・吉田・広田の4人)

7月2日は、障大連のデモの日。パンジーは全員参加だったので、介護者の横山さんが待つあゆむに11人が勢揃いとなった。めちゃめちゃ暑い日差しの中をデモしてきたのに、みな元気元気。デモ初体験の田巻さんも「楽しかった？」と聞くと、Vサインが返ってきた。みんなで言いたいことを言って、声を張り上げて、一緒に歩いて……というのは、気持ちがいいものなんだろうな。帰ってきてそんな興奮を分かち合いながら時を過ごせるというのがまたいい。

グループホームが当事者の活動の足がかりになっているのは間違いないようで、いいなと思う。もちろん行事ばかりが続くわけではない。ふだんの日には落ち着いた生活の場でありたい。この「落ち着いた生活の場」ってどんなものだろう？ ゆっくり休息ができて、……その先がもうちょっとイメージがわからない。「あなたの「生活の場」ってどんなもんですか？」(広田)



4月に新しくショップ
6月になりだいぶん慣れ
出すと、N君。彼もその

で働くことになった人も、
てきました。その中で例を
中のひとりです。ショップ

が始まった当初から毎日のようにお客として顔を出していた彼は、密かにやりた
いと思っていたようです。かなり慣れてきた彼はお客さんがこなかったりすると、
「外で宣伝しようか」と言ったりしています。好きなたばこも約束したとおり3
本までと決めて、守っています。一緒に働いているIさん、Aさんも「がんばっ
てるな」とはげましています。

こんな風に落ち着いてきたショップ。他にもショップで働いてみたいという人
は、たくさんいるかもしれません。そんな人にも開放された場所にしていきたい
と思っています。

話好きのN君と話してみたい人。ぜひ、ショップに来てみてください。お待ち
しています。 (はまだ)



kitchin

パンジーある朝の風景



パンジーには実習生がよく来る。朝8時30分すぎ緊張した面もちで初めてパ
ンジーを訪れた実習生たちは自動ドアの前で一瞬立ち止まっていると、中から思
わずおじぎをしたくなるような風貌のNさんが胸をはってスタスタと出てくるの
に出会う。いっせいにおじぎをしている前を風のように彼は通り過ぎる。実習生
たちは気を取り直してドアの内側に入るとそこは、インテリ風のHさんが待つて
いてとぼけた質問をする。まじめに答えてホールにあがると、第2のHさんが満
面笑みをたたえて吉本ふうギャグを連発しながら歓迎してくれる。そのHさんと
行儀よく並んでいすにつく頃、担当の職員が出勤してくる。そのときやっと、今
まで会った人達が皆メンバーさんだったことに実習生は気づく。そしてその頃
には、彼らはもうすでにパンジーの仲間であり、実習の大半を経験していたのであ
る。そんな光景を眺めながら、厨房の一日がはじまります。 (河野)

どらえもんかいのページ

パンジーまつりだより



去る、5月30日に毎年恒例のパンジーまつりが行われました。

今年は開催日が変更になりましたが、たくさんのお客さんとたくさんの催し物で楽しい1日になりました。

どらえもんかいのメンバーに感想など、いろいろ聞いてみました。



栗岡和美さん：やきとりとビールを セットにしたほうがよかった。ビールとジュースは べつにしたほうがよかった。

五十嵐千佳さん：パンジーまつりのとき パンをうりました。ほんで レーズンパンズとかクリームパンとか、みんなわたしやいて なおさんのおかあさんが はこんでいった。てじながめちやめちやふしぎやった。

河野陽子さん：たのしかった。いろいろあった。ヘルパーよかった。どうなるか わからんけど。らいねんもやりたい。



堀川幸子さん：たのしかった。らいねんもやりたい。

青山正さん：たのしくなった。ビールうれて、フルーツにビール おいしかった。また ビールやりたい。また みんなでがんばろう。



どろえもんかいのページ

福田直美さん：いもうとがきてくれてうれしかった。てじながよかった。らいねんは やきとりをやりたい。



田村 崇さん田村 「たこやき、やきとり、かきごうり、ビール、サイダー、カレー」

池内 「おいしかった？」

田村 「おいしかった」

池内 「またやりたい？」

田村 「やりたい」

久保祐子さん

池内 「楽しかったですか」

久保 「ウン」

池内 「来年もやりたいですか？」

久保 「ウン」

池内 「マーチャンはさい こう！！」



久保

「ウン！」



勉強しよう



今回は、言葉は出るが、コミュニケーションの道具として用いるのが下手なメンバーへのかかわりを報告しよう。

最近さをり織りを始めたK君、棚から好きな糸を選んで「ダークブラウン」とか「ミント」とか、微妙な色調にピッタリの言葉を使うのでいつも感心するのだが、彼は別に色の名前を伝えたいのではなく、「ミント」は「シャトルの芯棒にミント色の糸を巻くので手伝ってほしい」という要求の表現である。この意図が理解されない

と、彼は落ち着かない。

「サントリーの提供でおおくり

しました」など、コマーシャルが口癖のLくんはハンガー組立のベテランである。彼は一人壁に向かって（周りの刺激を制限して）仕事をしているのだが、時々皆の所にやってきてウロウロしたかと思うと、少なくなっている部品を、メンバーの頭越しにドサーッと補充していく。また出来上がったのが机の上にあるとこれも何も言わずにかき集めて引き上げていく。L君にとっては自分なりの仕事の手順なのだが、前ぶれのない彼の突然の行動に、車イスに座っているM君は身体を硬直させて驚くことがある。

I君も自閉的傾向のあるメンバーだが、特定の人への関心は高く、E君にはいきなり背中を叩いたり、Bさんにはポロシャツの上のボタンを急につかんでほめたりする。特異なのは行為そのものではなく、そのようなかかわりが行われる状況（文脈）が欠如していることと、その荒

っぱさ（力加減のなさ）である。I君はいつかスタッフがそのメンバーにかかわったやり方をみて、きっと同じことを手がかりにしたのだろうと推察できるが、E君やBさんにとっては降ってわいた出来事でびっくりしている。

ことような光景はパンジーでは珍しいのだが、決して大きなトラブルにはならない。それはかかわる方もトラブルにならないような相手を選んでいし、また周りのメンバーたちも彼らの突然の行為をあぐいがあるやっっているのではないことを理解しているからである。私は寛容なパンジーの仲間たちが大好きだ

が、このままではせっかくの言葉をコミュニケーションに使う機会を逸していることにな

る。

そこで、①人とかかわる時や自分の要求を伝えたいときに使うセリフを覚える。②メンバーやスタッフの名前を覚える大作戦をはじめた。「おおむ返し」は彼等の得意とするところだから、いささか切り口上ではあるがすぐ覚えてくれる。例えばL君の場面、部品を補充する時は「ゴムハメ お願いしまーす」。休憩時には「カンコーヒ 買いに行ってきまーす」など。ただし応用が効かないので、その都度目的にかなう言葉を練習することになる。人の名前に関しては意外に知らない。関心がないのなら、名前を覚えることで関心を高めようと側にいる人の名前を繰り返し教えている。その上で人とかかわりを持つときには、まず名前を呼ぶことで相手の注意を喚起できることを身につけてほしいと願っている。

コミュニケーションについて・2

中新井 澤子

新人紹介コーナー



田巻 淳奈

そこらにいる人に「淳奈さんはどういう人ですか？」と尋ねてみました。(くりさん、富やん、はだせさん、平川くん)

人なっこい、おもしろい、好奇心旺盛、いつもニコニコしていて楽しそう、一緒にいて楽しい、などという意見がありました。

淳奈さんは本当にそういう人で、一緒にいてむちゃむちゃ楽しい人です。私は、大好きです。(ゆきめ)

河合 朋子

昨春から週2回、グループホームに、今年からは週1回厨房に入るようになりました。パンジーに来るようになって、笑う回数が増えます。とても嬉しいことです。これからもよろしくお願いします。



横山 聡子

去年の
っていま
しく過ご

5月に
ました。
人数でに

とても元気でそして優しく、あゆむに来るたびにたくさんのパワーをもらっているような気がします。これからもよろしくお願いします。



11月からグループホーム「あゆむ」の介護に週2回入ります。今ではやつとあゆむの生活にもなれてメンバーと楽しんでいます。

あゆむが引っ越しをしたので、つばさにとても近くなりつばさの人達と夕食をいっしょにする事も多くなり、大げやかに食事をする事ができてうれしいです。みんなと

野村 省吾

初めまして。4月からショー吾です。岸和田市に住んでいます。S・Sに入ってはや3ヶ月つ深まってきたかなと思いと色んなこと、発見がありまことを発見できたらと思いますので、みなさん、かわいがってやってください。



トステイを中心に入ってる野村省もうすく27歳の男の子(?)でがたちメンバーとの関係も少しずつ。毎回、違うメンバーと泊まるす。これからも一緒にいろんなこ

広田 隆治

新人というにはうたがっています。が、応援スタッフから職員に変わったので紹介くらいはしてあげないとかわいそう。

3年ほど前からコンピューター関係の仕事と、難しめの職員勉強会のチュータをしてきています。凝り性で、パソコンに熱中している時はもう何を言ってもだめ。普段は気が優しいように見えるのに、結構熱血漢で、切れたら怖い。取り扱いにご注意ください。



アラスカ道中膝栗毛(その1) ピープル・ファースト世界大会・1998



ピープル・ファースト世界大会に参加してきました。
メンバーの感想を中心に報告します。

- 4月22日(水) 成田空港発(アンカレッジまで約12時間!)
- 23日(木) ピープルファースト会議
午前: 開会式・分科会(開会式で生田さんがサングループ事件のことを訴える。T・Jモンローのと交流が始まる)
午後: 分科会
夜: パーティ(生田さん岡本くん踊りまくる)
- 24日(金) 会議 午前: 全体会
午後: 分科会(日本の分科会で、サングループ事のことを麻薩さんが発表する)
夜: パーティー(ぬけだして、シフトレストランへ! カニおいしかった)
- 25日(土) 午前: 全体会・分科会
午後: 分科会 夜: さよならパーティー
- 26日(日) 朝5時に起きてアラスカ鉄道でホエールウォッチング
(鉄道往復8時間+クルージング6時間! 車椅子約30台の壮絶ツアー)
- 27日(月) 一路、関空へ(朝4時起き)
- 28日(火) 日本到着(機中、生田さんしゃべりまくり。なんと一睡もせず)

★肌勢俊一編

はじめはアラスカへ行くのがとても不安だった。それでぼくは行きたくないといったが、滝川さんが言ったほうが良いといってくれた。俺の思うことは食物はどのような物があるのかということだった。ひこうきにのり8時間かかった。いがいと長かったと



思う。外を見ているとなんだか朝焼けみたいに明るく外がみえてきた。

シアトルについて、外人がいっぱいいたのでこれは外国に来たなという感じだった。そこでタバコをすおうとするとおこられてしまった。なぜかというとな

バコにきびしいらしく、アメリカという国はどこもきんえんである。ぼくはタバコをすうところがないかとさがした。もうこれではがまんできないと思った。しかたがないから、ちがうところですよおうとすると、アメリカ人がおこったのでぼくはあきらめた。

三角になった山が水色のように美しくきれいだった。それに草原のような林があり、みずうみがあってすばらしく、アラスカ鉄道で南のほうへ行った。アラスカ鉄道にのり3時間ほどかかった。のっているうちに、外の景色がきれいで美しい、とくにホテルと同じ山がずっとならんでいて、これも水色だった。あくるひ28日の日に帰った。氷山の山がいっそうきれいに、おおきな氷河が空いちめんにみえた。

★麻窪みどり編

さいしょはアラスカに行くときいた時はさむいのがよくわからなかった。でも、はだせさんと一緒にいけてとてもよかった。アラスカでは、さべつされていないのがとてもいんしょうにのこってる。



ピンチヒッターでサングループのことをいったけど、わかってもらえたかなあ。まさかアラスカでアンケートにこたえて※2といわれた時はこまった。むずかしすぎてわからなかったけど、日本語わかる人がいてよかった。

ライブハウスでビールを飲んだけど、あわがたぐさんだったので味がにがいから、さっぱりわからなかった。

※2=アラスカ大の学生から1時間にもわたる自立生活のくわしいアンケートを受けた。

★青山正編

(はじめて外国にいった) むねがドキドキなっちゃった。

おもしろかったのは、(ライブハウスで) ビールのんでおどったことかなあ。外国語はわかんねえな。でもよお、外人のめいしを大事にしまってるよ。ぼくもめいしあげたら、よろこんじゃってよ。またあえるからねえって。

あとは、電車がよかった。ゆっくりいってよ、よく見えたもん。山とか。あれがたのしくなったな。帰りは、どうなるかと思ったら電車がまって、よかった。

書き損じハガキ、切手(未使用)を待っています!

ご家庭や会社などで書き損じのハガキ、スタンプを押していない切手など眠っていませんか? 自立生活部門ではこれらを集めて活動資金にあてたいと思っています。ご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございました

<後援費を振り込んでいただいた方> (敬称を略させていただきます)

石毛えい子 川村真人 尾崎文彦 細田和子 竹川節子 小松 崇
梶山太一 石崎邦彦

<カンパ・寄付をいただいた方>

中村葉子 栗山尚子 梶山太一

<書き損じハガキをお送りいただいた方>

飛鳥井けい子 長尾佳津子 浅野久美 エンゼル保育園 阪本百合
布施郵便局解放研

<外へ飛び出すためのカンパをいただいた方>

浜 譲 石崎邦彦



パンジーのメンバーが講演に行きます!

障害者も健常者も共に暮らしやすい社会について、一緒に考えませんか。学校の教師や生徒、知的障害の人々、市民講座、ヘルパー対象など、どこへでもでかけてゆきます! 詳しくはパンジーまでお電話ください。【5月/6月の実績】布施郵便局部落解放研究会

1998年 ピープルファースト世界大会inアラスカ のためのカンパをありがとうございました。

ピープルファースト世界大会に6名のメンバーが参加しました。たくさんの方に応援していただき、ほんとうにありがとうございました。アラスカ大会の道中記は、本文で紹介していますので、ぜひごらんください。

パンジーでは後援会員を募集しています。



賛助会員	1口	1ヵ月	500円
本会員	1口	1ヵ月	1,000円
特別会員	1口	1ヵ月	5,000円
郵便振替番号		00950-1-300551	
クリエイティブハウス「パンジー」			

編集人 東大阪市東鴻池町2-4-8
クリエイティブハウス TEL:0729-63-8818
“パンジー” FAX:0729-63-8825

発行人 関西障害者定期刊行物協会
大阪市城東区東中浜2-10-3
緑橋グリーンハウス1F・7F企画気付